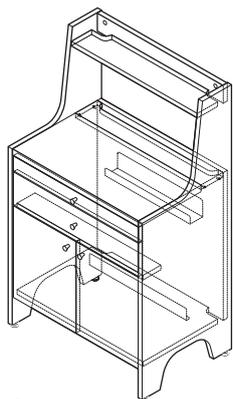


# at! FAX ネットワーク機器収納台 組立説明書

AT-0604ST 414-845(白木)  
414-846(濃木)

20130301



組み立ての前に必ずお読みください。  
不適切な組み立ては事故につながる恐れがあります。  
重量がありますので、必ず2人以上で組み立ててください。



- 工具の取り扱いは十分ご注意ください。
- 組み立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立説明書に従って組み立ててください。組立手順を間違えると組立たない場合があります。
- 組み立ての際、製品および床などをキズつけないようご注意ください。
- 組立手順に従い、はめ込む部分は確実にはめ込んでください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。
- 組立手順に従い、ネジなどで確実に組み立ててください。不十分ですと使用中に商品が破損しケガをする恐れがあります。

最初に必要なパーツがそろっているか確認してください

## 部材

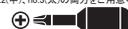
at! AT-0604STは、以下の2ヶ口になります。  
(ご購入時の商品コードと、各部品の商品コードは異なります。)

白木 414-845 = 414-847 + 414-849  
濃木 414-846 = 414-848 + 414-849

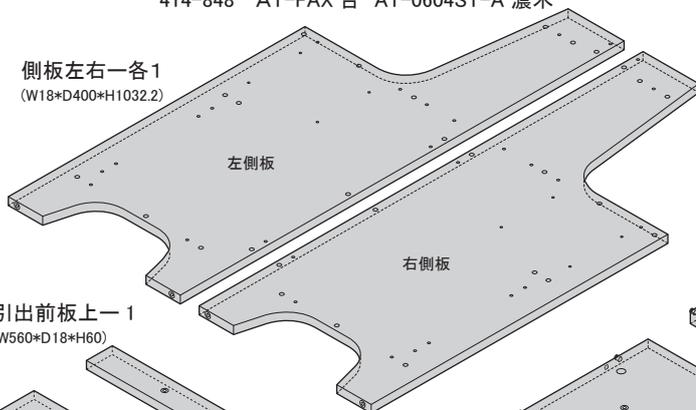
本体ユニット 414-847 AT-FAX 台 AT-0604ST-A 白木  
414-848 AT-FAX 台 AT-0604ST-A 濃木

### 使用工具

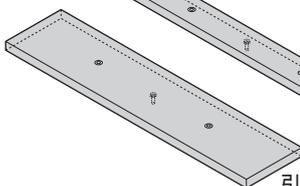
ドライバー  
no.2(中), no.3(大)の両方をご用意ください



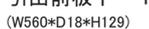
側板左右各1  
(W18\*D400\*H1032.2)



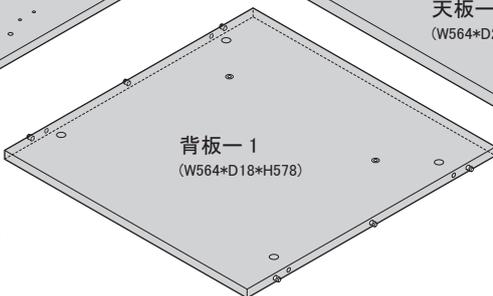
引出前板上-1  
(W560\*D18\*H60)



引出前板下-1  
(W560\*D18\*H129)

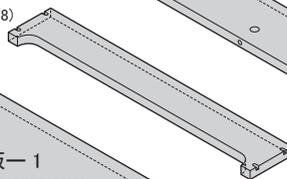


背板-1  
(W564\*D18\*H578)

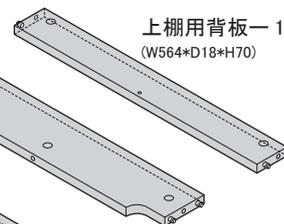


配線ダクトフター-1  
(W562\*D98\*H18)

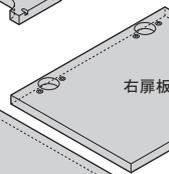
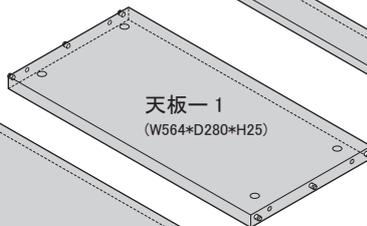
上棚用棚板-1  
(W564\*D116\*H18)



上棚用背板-1  
(W564\*D18\*H70)



天板-1  
(W564\*D280\*H25)



左扉板

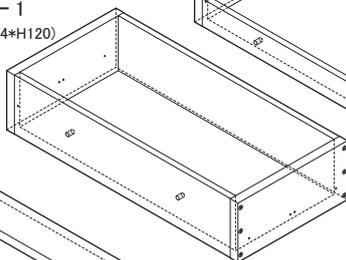
開扉用扉板左右各1  
(W279\*D18\*H358)

引出、底板ユニット 414-849 AT-FAX 台(引出) AT-0604ST-B 白

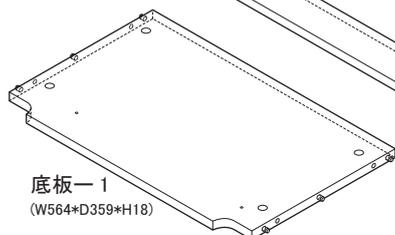
(引出、底板ユニットは、白木、濃木共用です。)

本説明書-1

引出下-1  
(W538\*D254\*H120)

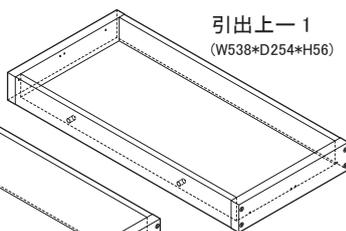


戸当たり板-1  
(W564\*D80\*H18)



底板-1  
(W564\*D359\*H18)

引出上-1  
(W538\*D254\*H56)



配線トレー(銀)-1  
(W380\*D57\*H65)



仕切板(銀)-1  
(W434\*D16\*H45)



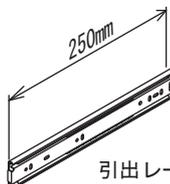
扉ヒンジ-4



扉ヒンジベース-4



引出レール(250mm)  
2セット



ジョイント円盤-17  
(Φ15\*13)



ジョイントピン-17 (M6\*8)



ジョイント円盤キャップ

(白木色、濃木色)-各5  
(ご購入の色種のキャップをお使いください。)



引出レール、仕切板固定ネジ (3.2\*14) -18



配線トレー取付ネジ-2 (M6\*15)



引出前板取付ネジ-4 (M6\*20)



棚ダボ-4 (Φ5\*16)



ヒンジベース取付ネジ-8 (6\*14)



ヒンジ取付ネジ-8 (4.9\*8)



取手-4



取手固定ネジ (#8-32\*22) -4



緩衝材-2 (22\*22\*2)

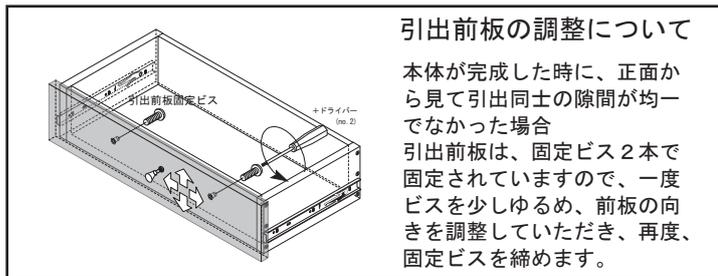


アジャスター-4 (M6\*15)



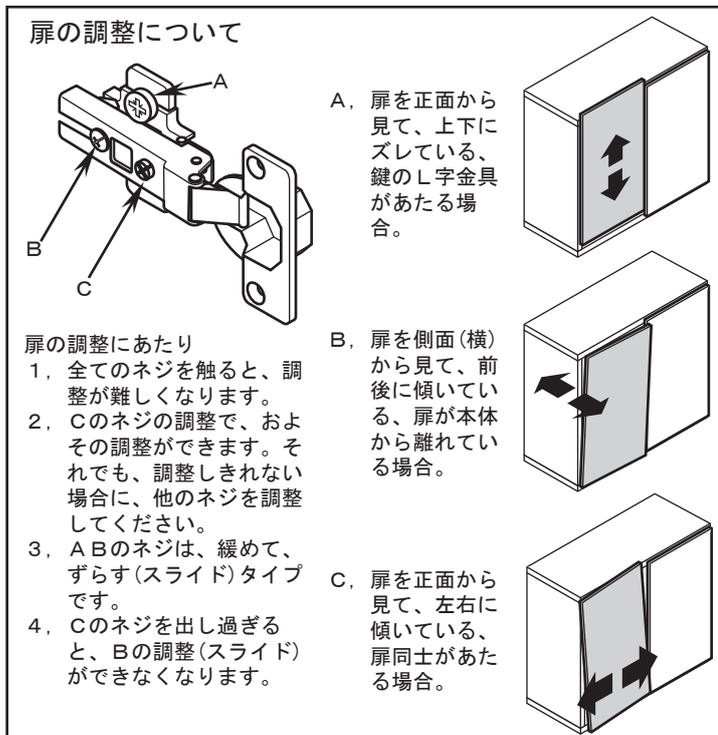
六角レンチ-1 (4mm)





## 引出前板の調整について

本体が完成した時に、正面から見て引出同士の隙間が均一でなかった場合、引出前板は、固定ビス2本で固定されていますので、一度ビスを少しゆるめ、前板の向きを調整していただき、再度、固定ビスを締めます。



## 扉の調整について

A. 扉を正面から見て、上下にズレている、鍵のL字金具があたる場合。

B. 扉を側面(横)から見て、前後に傾いている、扉が本体から離れている場合。

C. 扉を正面から見て、左右に傾いている、扉同士があたる場合。

### 扉の調整にあたり

1. 全てのネジを触ると、調整が難しくなります。
2. Cのネジの調整で、およその調整ができます。それでも、調整しきれない場合に、他のネジを調整してください。
3. A Bのネジは、緩めて、ずらす(スライド)タイプです。
4. Cのネジを出し過ぎると、Bの調整(スライド)ができなくなります。

## 配線について

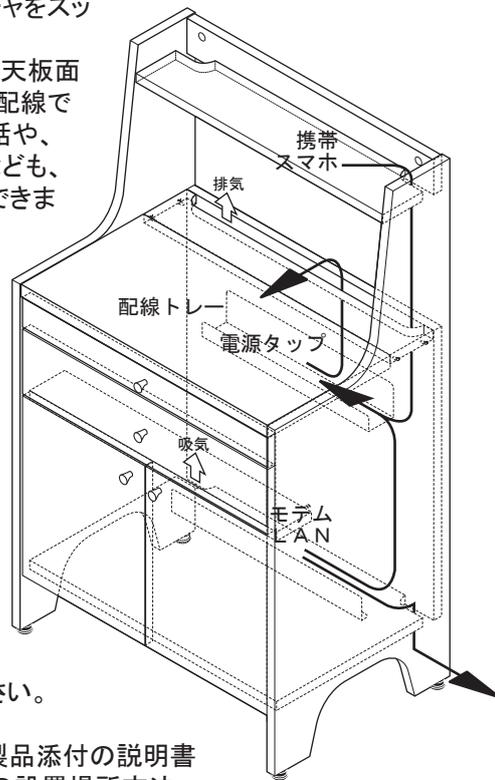
底板奥には、仕切板で仕切りモデム、LANユニットを置けます。天板下奥側の配線トレーに、余長配線を入れておくことができ、配線のゴチャゴチャをスッキリできます。

その配線トレーから、天板面はもとより、棚板にも配線できますので、携帯電話や、携帯音楽プレイヤーなども、棚板に置いて充電ができます。

## 注意

- 配線ダクトフタの切り欠き部分は、配線を通すだけでなく、庫内に電源タップ、その他機器を置いた場合の排熱孔の役割をしますので、切り欠き部分にモノを置いたりしてふさがないようにください。

- 電気製品は、電気製品添付の説明書をお読みにになり、その設置場所方法、注意事項をお守りください。



## 警告

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 廃棄するときは購入店にご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。



## 注意

- 火のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 天板の外周に片寄って重いものをのせないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 天板に20kg(等分布加重)以上のものをのせないでください。天板が破損してケガをすることがあります。
- 天板にのったり、腰掛けたりしないでください。倒れてケガをすることがあります。
- 各部のネジ類がゆるんだまま使用せず、増し締めしてください。破損や倒れてケガをすることがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。
- 用途以外に使用しないでください。事故やケガをすることがあります。

## ■一般のご注意

- ・直射日光や熱、冷暖房器具の強風を直接当てないでください。ゆがみや変色の原因となります。
- ・移動するときは2人以上で持ち上げて行ってください。引きずると破損したり床面を傷つけることがあります。
- ・高熱の物を直接棚板等の上に置かないでください。表面材が変色したり、剥がれることがあります。
- ・天板の上に水などをこぼしたら、直ちに拭き取ってください。放っておきますと表面材が変色したり剥がれたりすることがあります。
- ・換気励行のお願い  
製品購入時、化学物質の発散を感じる場合があります。暫くの間は、換気を十分行うよう心掛けてください。また、室内が著しく高温多湿(気温28度、湿度50%超)になる場合には、窓を閉め切らないか、強制換気を行ってください。

品質表示 AT-0604ST

- 外形寸法：  
幅 600× 奥行 400× 高さ 1043 (天板高さ 700) mm
- 甲板の表面材：  
合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)
- 表面加工：  
合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)
- 取扱い上の注意  
直射日光または、熱を避けてください。  
過熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないでください。
- プラス株式会社 ガラージ事業部  
東京都千代田区三番町6-14

made in TAIWAN



## お手入れ方法

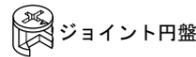
1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか、ぬらして固く絞った布などで拭いてください。
  2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後ぬらして固く絞った布などで拭いて、洗剤を完全に取り除いてください。
- ※シンナー、アルコール類は使用しないでください。



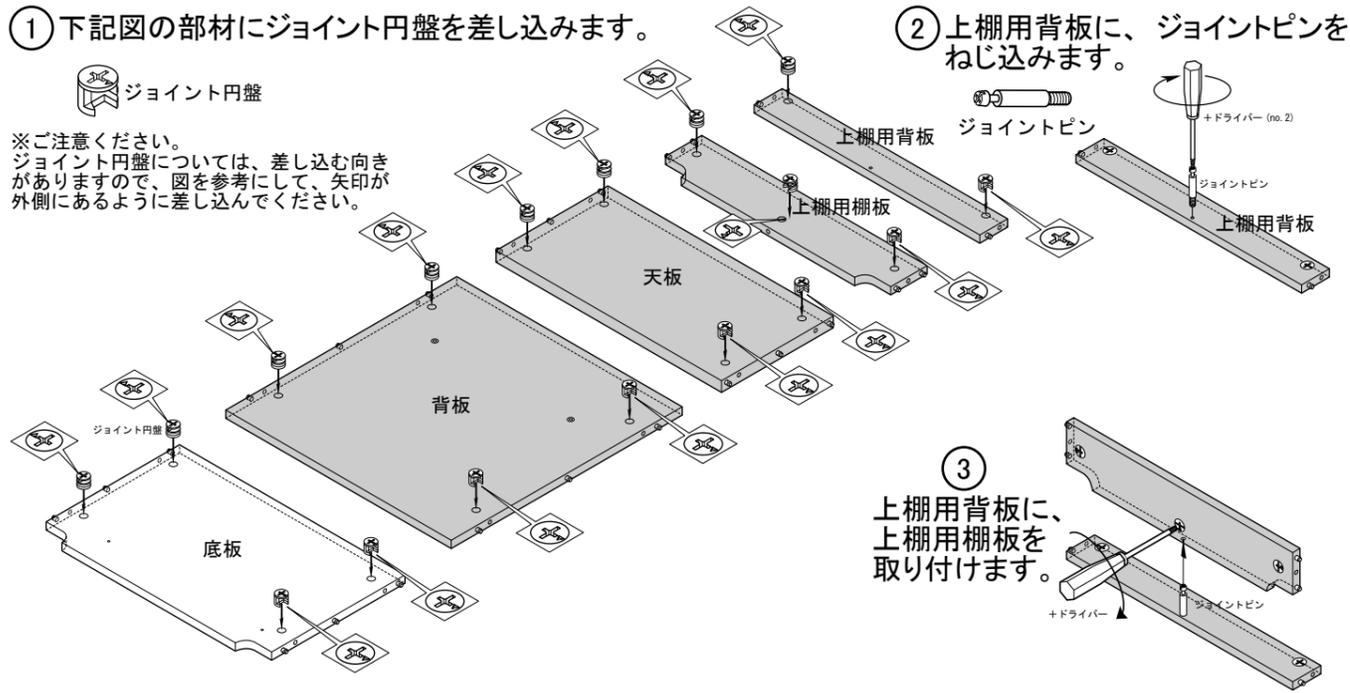
お問い合わせ先 製品に関するご質問は、ご購入店・または下記のお問い合わせセンターにお寄せください。

ガラージお客様センター / Tel.0120-331-753 (9:00~18:00 土日祝日、年末年始を除く)

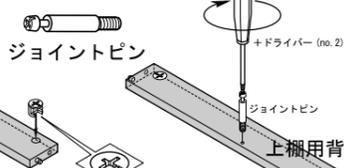
① 下記図の部材にジョイント円盤を差し込みます。



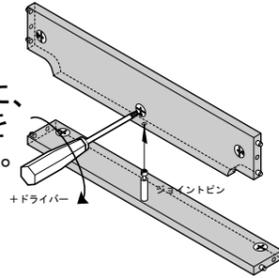
※ご注意ください。  
ジョイント円盤については、差し込む向きがありますので、図を参考にして、矢印が外側にあるように差し込んでください。



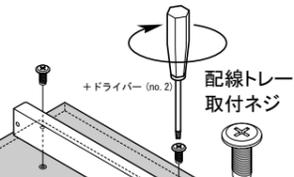
② 上棚用背板に、ジョイントピンをねじ込みます。



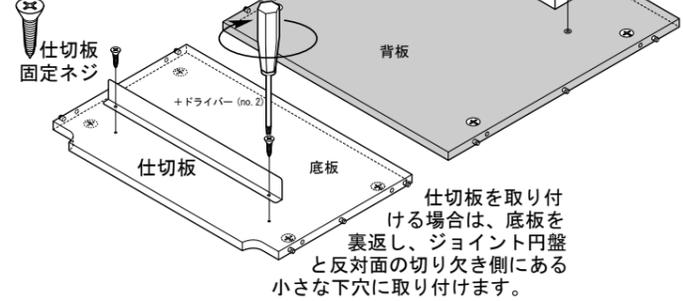
③ 上棚用背板に、上棚用棚板を取り付けます。



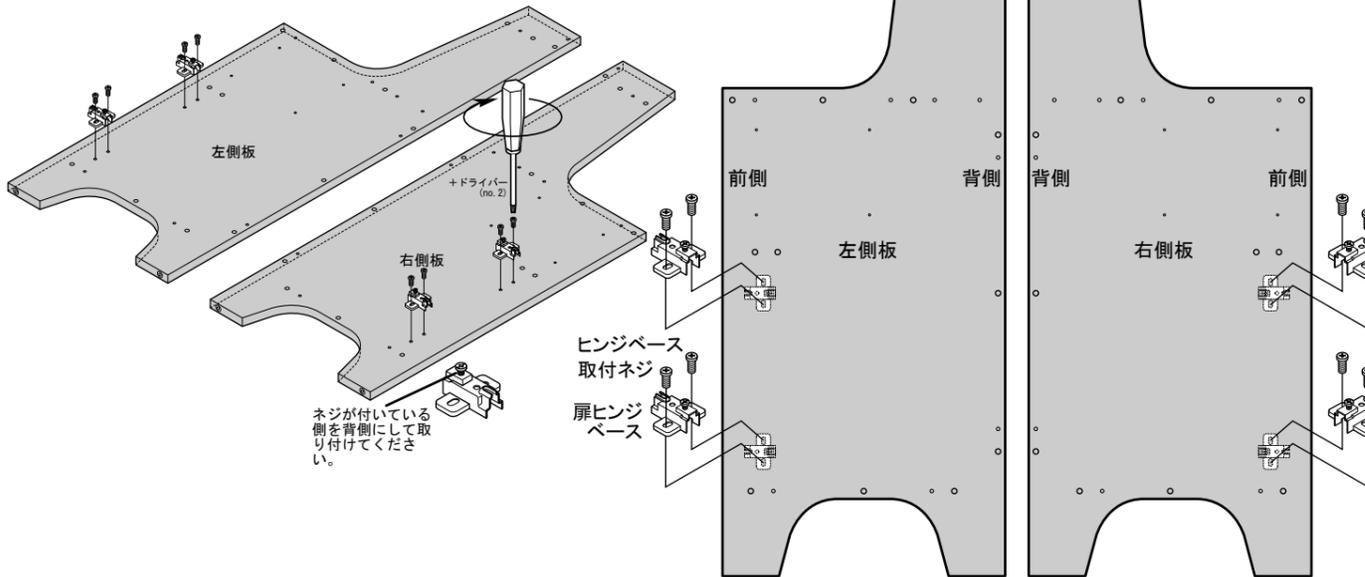
④ 背板に配線トレーを取り付けます。



⑤ 底板に仕切板を取り付けます。



⑥ 左右側板にヒンジベースを取り付けます。



ネジが付いている側を背側にして取り付けてください。

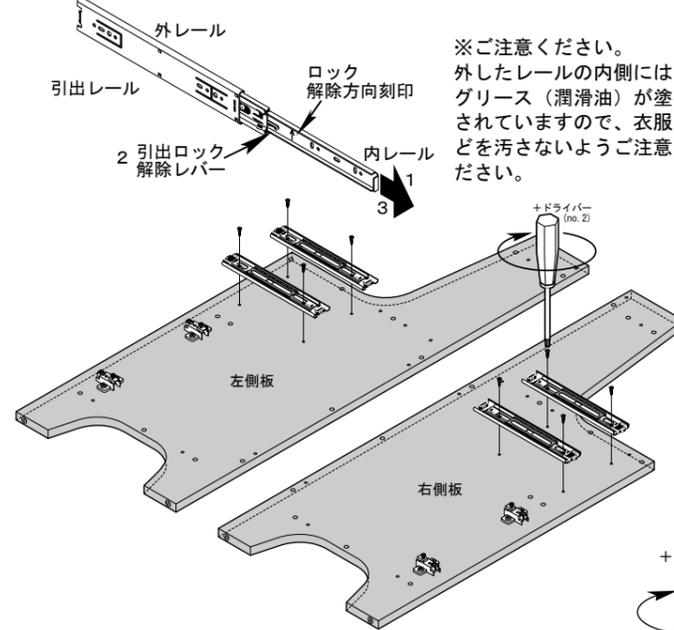


AT-0604ST  
20130301

1/2

⑦ 引出レールの内レールと外レールを外します。

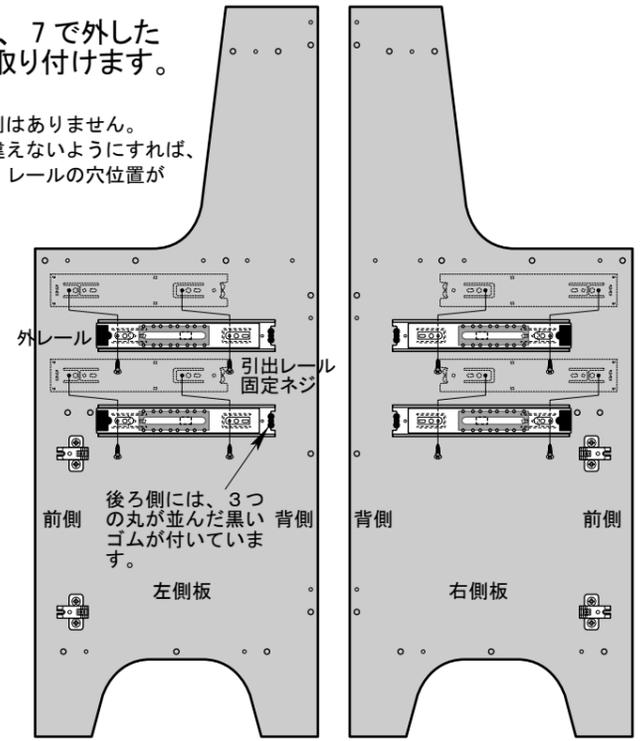
1. 引き出しレールの内レールを、引出ロック解除レバーが見える位置まで引出します。
2. 引出しロック解除レバーをロック解除方向刻印の方へ押します。
3. ロック解除レバーを押しながら、さらに、内レールを引くと、内レールが外れます。



※ご注意ください。  
外したレールの内側には、グリス（潤滑油）が塗布されていますので、衣服などを汚さないようご注意ください。

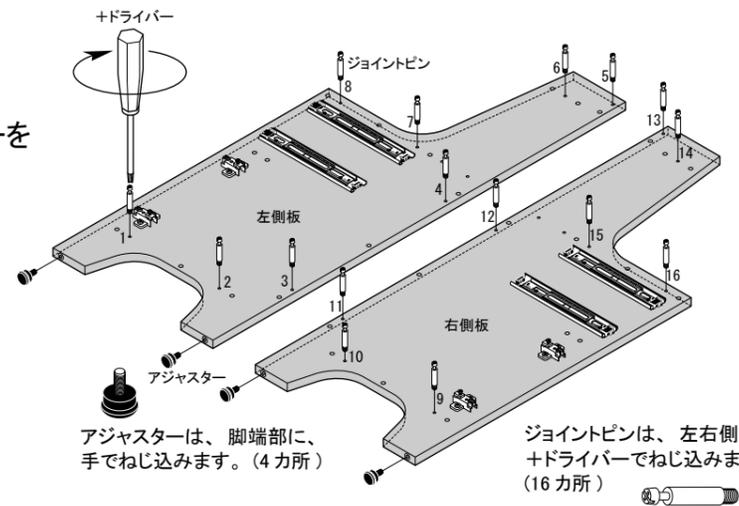
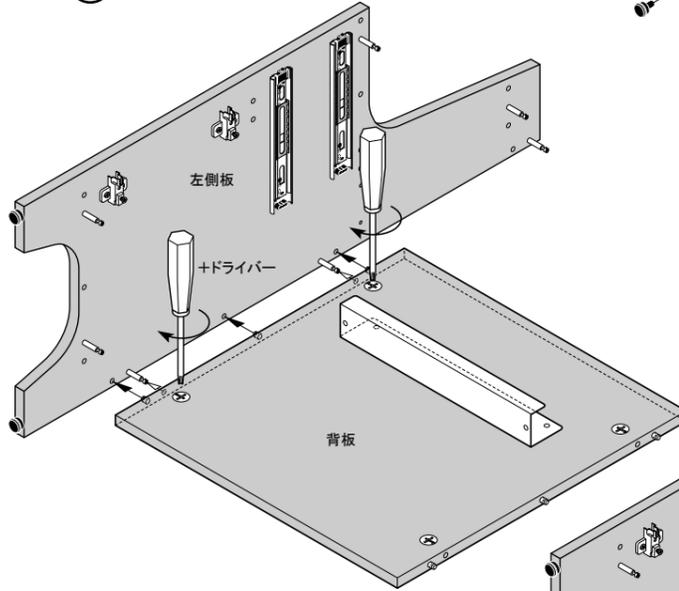
⑧ 左右側板に、7で外した外レールを取り付けます。

※レールに左右の区別はありません。レールの前後を間違えないようにすれば、本体側板の下穴と、レールの穴位置が合います。



⑨ 左右側板にジョイントピン、アジャスターを取り付けます。

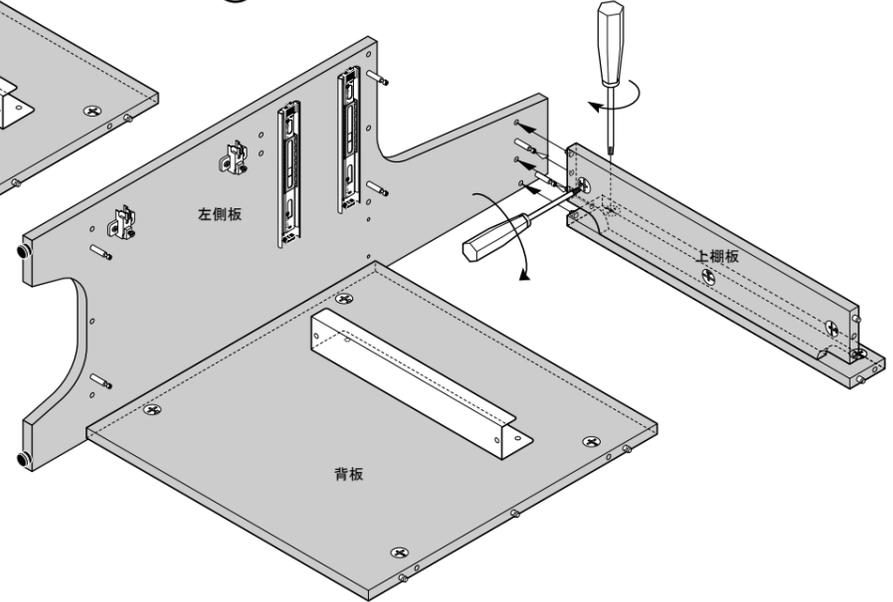
⑩ 左側板に背板を取り付けます。



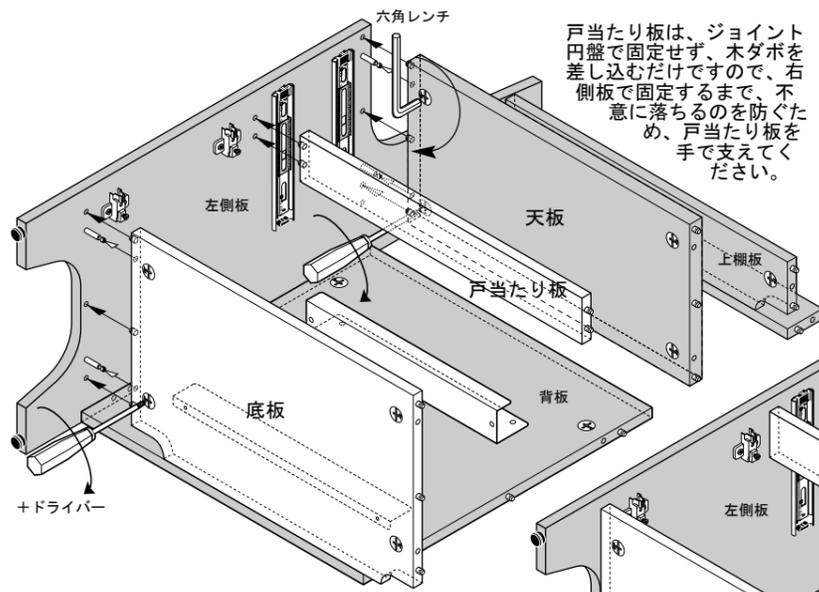
アジャスターは、脚端部に、手でねじ込みます。(4カ所)

ジョイントピンは、左右側板に+ドライバーでねじ込みます。(16カ所)

⑩ 左側板に3で組み立てた上棚板を取り付けます。



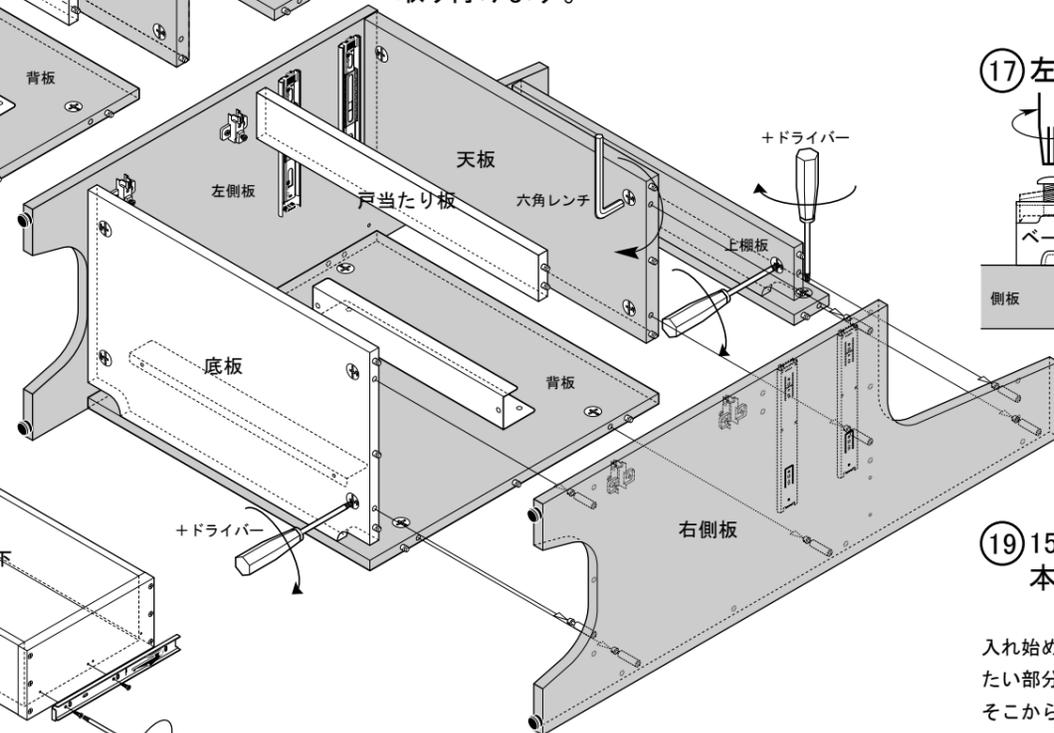
⑪ 左側板に、天板、底板、戸当たり板を取り付けます。



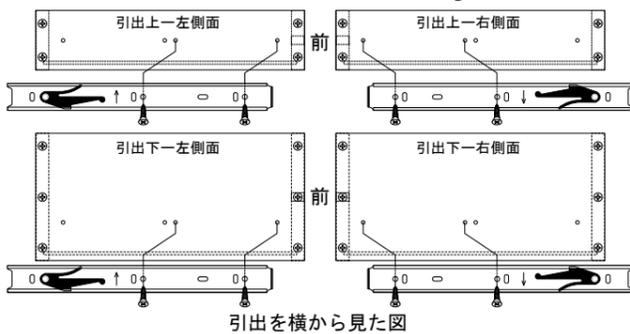
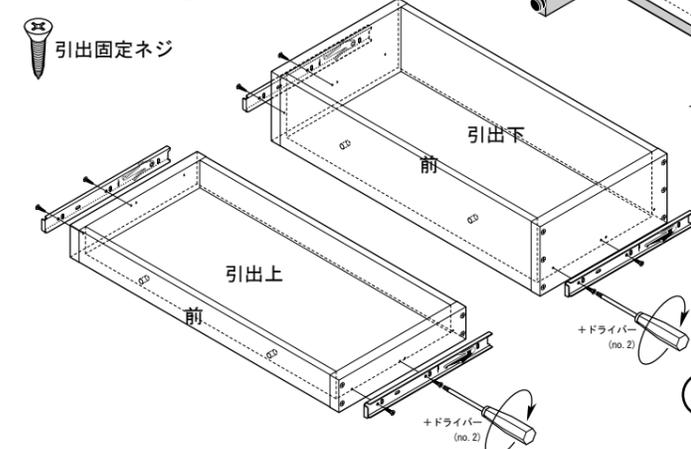
戸当たり板は、ジョイント円盤で固定せず、木ダボを差し込むだけです。右側板で固定するまで、右側に落ちるのを防ぐため、戸当たり板を手で支えてください。

ジョイント円盤は、+ドライバーで締められますが、天板下面の手前のジョイント円盤は、戸当たり板があり、ドライバーが使えない場合は、六角レンチをお使いください。

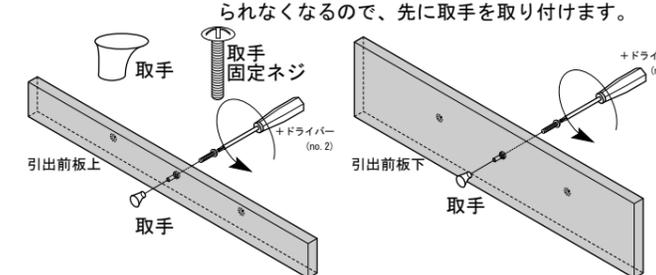
⑫ 11で組み立てた本体に、右側板を取り付けます。



⑬ 引出上、引出下に、7で外した内レールを取り付けます。

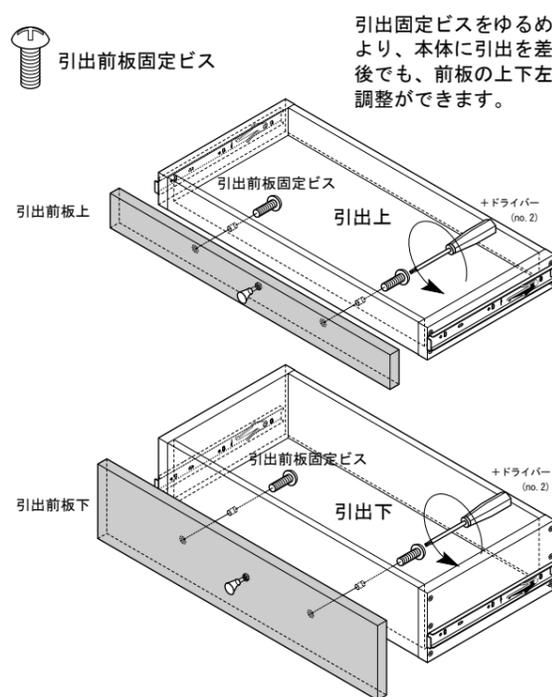


⑭ 引出前板上、引出前板下に、取手を取り付けます。



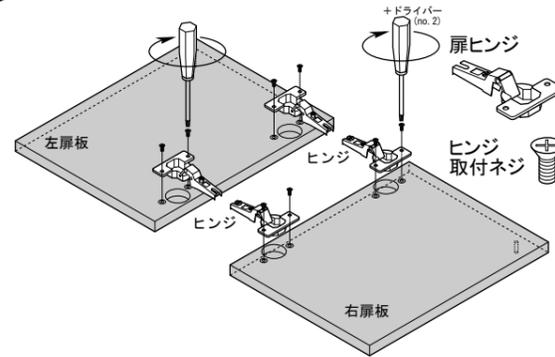
前板を引出に取り付けた後は、取手を取り付けられなくなるので、先に取手を取り付けます。

⑮ 引出前板上、引出前板下を、13で引出レールを取り付けた引出上、引出下に取り付けます。

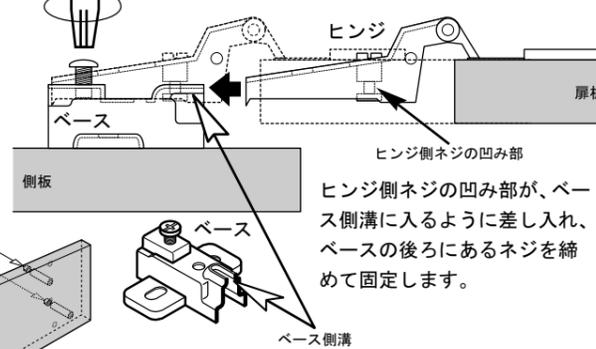


引出固定ビスをゆるめることにより、本体に引出を差し入れた後でも、前板の上下左右の位置調整ができます。

⑯ 左右扉板にヒンジを取り付けます。

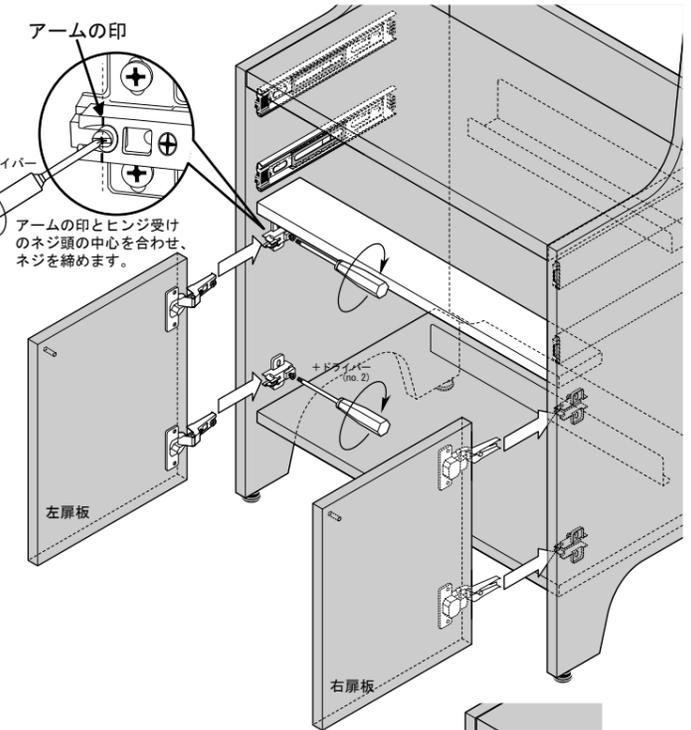
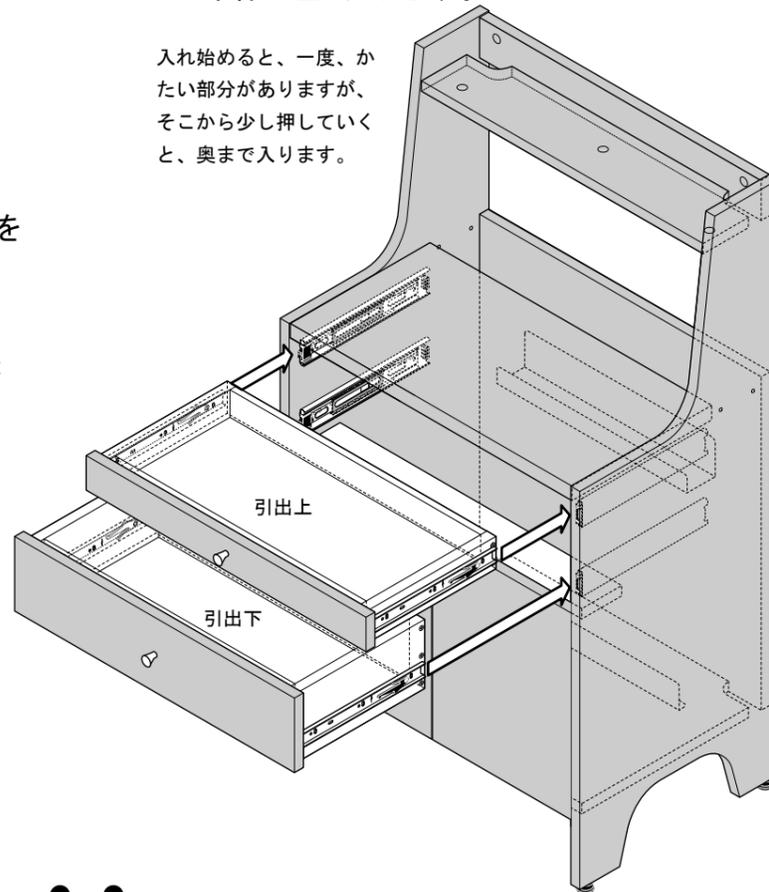


⑰ 左右扉を12で組み立てた本体に取り付けます。+ドライバーで締めます。

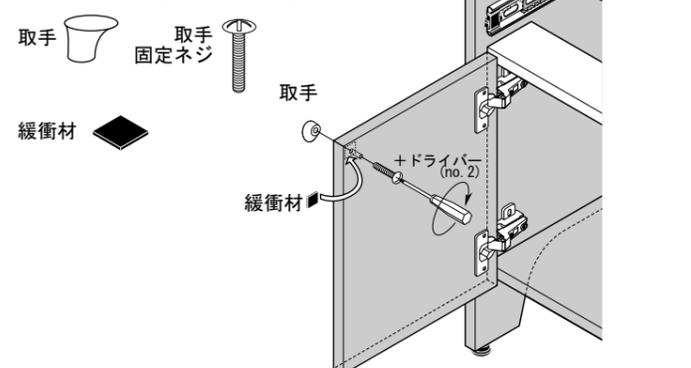


⑱ 15で組み立てた引出上下を、本体に差し入れます。

入れ始めると、一度、かたい部分がありますが、そこから少し押していくと、奥まで入ります。



⑲ 左右扉に、取手を取り付け、緩衝材を角に貼ります。



⑳ 棚ダボを左右側板に差し込み、その上に配線ダクトフタを載せます。最後に、上棚のジョイント円盤に、本体と同色のジョイント円盤キャップを付けて完成です。

